

こころの健康に関する実態調査結果について

本市の自殺者数は、減少傾向にあるものの、未だ交通事故死亡者数の約6倍の方が自殺により亡くなっており、さらなる自殺対策の推進が必要である。そこで、本市では、市民のこころの健康についての意識と実態を把握するため、調査を行った。

1 調査の目的

調査結果をもとに、こころの健康に影響を与える諸要因に対する課題を抽出し、本結果を本市における精神保健福祉行政及び自殺対策の基礎資料として施策の構築に寄与することを目的とする。

2 調査対象 20歳以上の市民4,500人（無作為抽出）

3 調査方法 郵送調査法

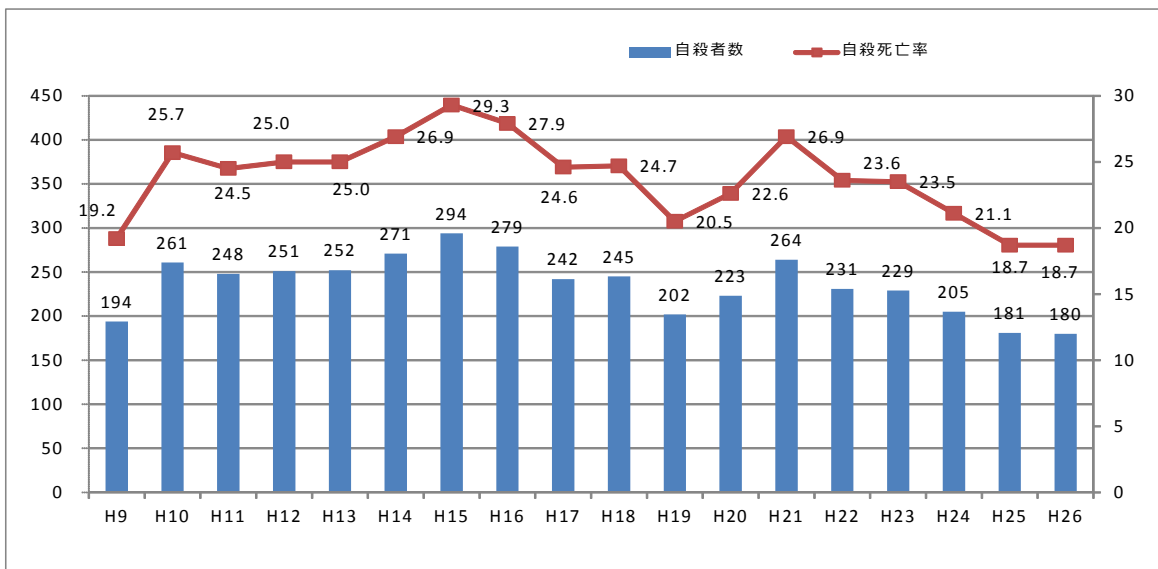
4 調査期間 平成27年7月1日～8月15日

5 回収結果 2,231件（回収率49.6%）

6 調査結果概要 別紙のとおり

7 調査結果の活用について

上記調査を踏まえ、これまでの取り組みの評価や課題の抽出、整理を行った上、取組むべき施策について検討を行う。また、今後は、検討結果を反映させた「(仮称)北九州市自殺対策推進計画」を策定し、更なる自殺対策の推進を図っていきたい。



【参考】北九州市の自殺者数・自殺死亡率（厚生労働省人口動態統計より北九州市作成）